

認定こども園 藤覚保育園 令和元年度 自己評価報告書

教育・保育の質の向上を図るため個別に自己評価を実施した。

経験年数によって項目上の評価にばらつきはあるものの、次年度はより良い評価をつけられるよう努力する事を自覚している。

<教育課程・指導>

就学前の子どもに一体的に教育・保育を提供している。

<保健管理>

健康状態や発育発達の状態を把握している。感染症や疾病の予防に努め適切に対応している。アレルギーを持つ園児に対しては、関係機関と連携し安全な環境を整えている。

<安全管理>

災害・地震・土砂災害・ミサイル等の避難訓練や不審者対応訓練を実施し、不測の事態に備えている。交通安全に関する指導を行い、教育・保育中・睡眠中・食事中等事故がおこらないよう充分留意している。

<特別支援教育>

特別な配慮を必要とする園児に対しては、集団生活を通して発達できるよう工夫している。

<研修(資質向上の取組)>

積極的に外部・内部研修に参加し、資質向上に努めている。

<教育目標・学校評価>

認定こども園は生きる力の基礎を育成し、義務教育及びその後の基礎を培うとともに子どもの最善の利益を考慮し、生活を保障し、保護者ととともに園児を心身ともに健やかに育成するものである事を理解している。

<情報提供>

当園は豊かな心・考える力・たくましい体を目標に子どもと関わっている。

<子育ての支援>

保護者との信頼関係を築き、連携して子どもの育ちを支援している。

<食育>

健康な生活の基本としての食を営む力を育てるために環境を整えている。

<特別活動>

園独自にサッカー・マーチング・ダンス・裸足保育を取り入れている。目的を理解し、園児の心と体の成長のために取り組んでいる。

工夫・気づきの点において職員間に関きがある。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 10 項目を念頭に置き、子どもたちが日々の園での生活の中で身につけていけるよう、いかに集中して活動できるようにするかの工夫を重ねる事の必要性を自覚し、一人一人の工夫・気づきによって園が活性化していく事を理解していきたい。